

STEP3

考える

マイ・タイムラインに具体的な行動を書き込みましょう（洪水編）

突然起こる地震とは違い、台風などの風水害は時々刻々と進行する進行型の災害です。安全に避難するためにどのような順序で防災行動を行うべきかを、高齢者等避難などの行政が発信する情報のタイミングに合わせて考えてみましょう。

記入例を参考に自分の行動（マイ・タイムライン）を考えましょう

作成年月日 年 月 日

- ◇: 気象・防災情報
- : 町が発令

- ◇台風に関する気象情報(随時)
- ◇台風予報

水防団待機水位到達
警戒レベル1

- ◇台風に関する今後の見通し
- ◇大雨注意報・洪水注意報

氾濫注意水位到達
警戒レベル2

- ◇暴風警報
- ◇大雨警報・洪水警報

避難判断水位到達
警戒レベル3相当

- 避難所の開設
- 高齢者等避難を発令

氾濫危険水位到達
警戒レベル4相当

- 避難指示を発令

- ◇大雨特別警報

氾濫が発生
警戒レベル5相当

- 緊急安全確保
(必ず発令される情報ではない)

記入例

- 台風の今後の調べ始める
- 1週間分の薬を病院に受け取りに行く
- 家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認
- テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意
- 避難する時に持って行くものを準備する
- 家族と連絡を取りあう

- 住んでいるところと上流の雨量を調べ始める
- 携帯電話の充電
- ハザードマップで避難場所、避難手段を再確認
- 川の水位を調べ始める

- 高齢者等避難に時間がかかる人は避難を始める。
- その他の人は避難できるよう準備する

- 携帯メール等で避難指示等を受信
- 安全なところへ避難を始める

- 命を守る最善の行動をとる

雨風が強くなる前に行うべき事項をすませておく時期

水位等の状況を把握しつつ避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期